

大分県女性審判員クリニック  
実施報告

1 目的

県内女性審判の発掘を図るために、まずは審判に興味を持ってもらう。

2 対象

- (1) これから審判を始めたい人。
- (2) 練習試合やチーム内でのゲーム形式の場面で、審判をする高校生マネージャー、プレーヤー。
- (3) 帯同審判が必要で資格を取ったが、実践経験のない（少ない）人。

3 日時

令和6年12月1日（日） 9：00～12：00

4 場所

県立大分商業高校 体育館

5 参加者 15名（C級：2名、E級：2名）

（中学生1名、高校生8名、社会人6名）

6 内容

|            |                              |
|------------|------------------------------|
| 8：50       | 開講式                          |
| 9：00～9：20  | 審判の役割、プレゼンテーション、2P0メカニクス（講義） |
| 9：20～9：45  | 笛の鳴らし方、プレゼンテーション（実技）         |
| 9：50～11：50 | 2P0実技（練習ゲームを使用）              |
| 11：50～     | まとめ・閉講式                      |

7 参加者の感想（抜粋）

- ・今まで試合中に見てきた審判の動きやシグナルを今回改めて勉強することができて楽しかったです。また参加したいです。
- ・とても楽しく、私自身、少しの自信になりました。わからないことはインストラクターや他の参加者の方に聞くことも出来、他の方が吹いているのを見るのもとても勉強になりました。もっとカッコよく審判したいとも思いました。
- ・ルールなどのことで細かい不明点が出てきた時に、どのように確認していくとよいか？どのように、解消していけばよいか、教えて欲しいです。
- ・中学生から高校生、ママさんまで、女性審判員の方と受講する事が出来て楽しかったです。笛の吹き方を丁寧にわかりやすく教えていただき勉強になりました。

8 所感

企画時に想像していたよりも多くの参加希望があり、参加の理由として「審判に興味があった」と答えた人が多数いました。いきなりライセンス保有者を増やしていくことよりも、経験してみたいうえで、前向きにライセンス取得にチャレンジしてもらう方が、実際の活動や継続につながると感じました。

本来は、もっと細かく審判に必要な技術、IOTなどを説明すべきなのかもしれませんが、堅苦しくなく、とにかくやってみるというやり方が今回はよかったかもしれません。

公式戦ではできないことなので、練習試合を利用させてもらうなどチームからの協力が必要不可欠であるが、チームの指導者からも「審判してくれるから助かる」との肯定的な意見もいただいています。

今回、興味はあるが、一歩踏み出せないでいた人たちが参加してくれたことにより、このような企画に需要があることが分かったことは大きな収穫でした。育成する女性審判を増やすことができるよう、まずは発掘から取り組んでいきたいと思います。（報告者：佐田明美）

